

## IV. 21 世紀 COE としての活動

平成 18 年度 21 世紀 COE では、以下のプロジェクトについて推進した。

(プロジェクトごとにプロジェクト名、推進者名、所属分野の順に記載)

1. 「テナガザル類の生物多様性と生物地理学的解析」  
平井啓久(遺伝子情報), 渡邊邦夫(野外観察 / 生態機構), 高井正成(系統発生), 香田啓貴(生物多様性), 杉浦秀樹(社会構造), 早野あづさ(遺伝子情報), 親川千紗子(認知学習 / 生物多様性), Rizaldi(野外施設)
2. 「研究用霊長類の創出・育成に関する実験動物学研究」  
景山節, 松林清明, 上野吉一, 鈴木樹理, 竹元博幸, 東濃篤徳, 小倉匡俊, 宮部貴子(人類進化モデル研究センター)
3. 「霊長類の神経系・内分泌系の種間比較」  
林基治, 大石高生, 清水慶子, 託見健, 檜垣小百合(器官調節)
4. 「野生霊長類における基礎データの収集とデータベース化」  
室山泰之(野外観察), 杉浦秀樹(社会構造), M.A.Huffman(生態機構), 半谷吾郎(社会構造), 早川祥子(生態機構), 鈴木克也(野外観察), 山田彩(野外観察)
5. 「霊長類研究所音声データベースの拡充」  
松井智子(認知学習), 杉浦秀樹(社会構造)
6. 「大脳皮質細胞の多様性とその機能的役割の研究」  
三上章允, 宮地重弘, 脇田真清, 井上雅仁, 瀧藤大輔, 石川直樹(行動発現)
7. 「ベトナム・タイ・マレーシアから台湾・南西諸島にかけての哺乳類多様性に関する総合的解析」  
遠藤秀紀, 濱田稔, 國松豊(形態進化), 平井啓久(遺伝子情報), 川本芳(集団遺伝)
8. 「マカクザル臓器の発生発達の組織化学的および分子生物学的研究」  
浅岡一雄(遺伝子情報), 脇田真清(行動発現), 早矢仕みか(遺伝子情報)
9. 「ユーラシア大陸における旧世界ザルの進化に関する古生物学的研究」  
高井正成(系統発生)
10. 「サル学はやわかり画像データベース：サルの顔から遺伝子まで」  
友永雅己(思考言語), 毛利俊雄(形態進化), M.A.Huffman(生態機構), 平井啓久(遺伝子情報)

11. 「Study on eye color of Japanese monkeys in their nature habitats」  
張鵬(野外観察)
12. 「野生ニホンザルの遊動パターンと果実の豊凶との関連」  
山田彩(野外観察)
13. 「ニホンザルにおける群れの空間的まとまりの維持に関する研究」  
鈴木真理子(社会構造)